

本館・新館場所	本館1階	本館2階	本館側西別館2階	新館1階	新館2階	新館3階
診療科名	腫瘍・血液・感染症内科 放射線科 治療 乳腺腫瘍	精神神経科 脳神経外科 耳鼻咽喉科 麻酔科 歯科口腔外科	リハビリテーション科	整形外科 健康管理科 総合診療部 診療部 東洋医学	腎臓・膠原病内科 腎臓 膠原病	産婦人科 眼科 形成外科 皮膚科 循環器内科 心臓血管外科 小児科
センター名			運動器・脊椎・骨髄センター	予防医学センター	腎・泌尿器・膠原病センター	小児医療センター 女性診療センター アイセンター
診療日	毎日 月・木・金 火・金 ※予約制	月・水・金 月・木・土 月・水・金 月・水・金	毎日	毎日 月・火・金・土 月・水・木 ※予約制	初診 月・木 再診 月・水・木・金 再診 火・水・金	初診 月・水・土 再診 月・火・水・木・金 再診 月・水・土 ※水は予約制 ※土は予約制

●休日 日曜・祝日・振替休日・盆休(8月15日)、年末年始(12月29日～1月3日) 平成23年4月現在

交通のご案内

地下鉄七隈線でご来院の方へ

「福大前駅」下車。
改札口を出て右側の2番出口方面に進み「福岡大学病院連絡通路」へお進みください。
定員20人乗りの一般用のエレベーターが設置されています。
※「天神南駅」からご乗車の場合(所要時間 約16分)
※「橋本駅」からご乗車の場合(所要時間 約8分)
※「福岡空港」、「博多駅」からの場合、「天神駅」で乗り換えです。
天神地下街を通過して七隈線「天神南駅」から乗車となります。

バスでご来院の方へ

「福大病院」での下車となります。
天神から(所要時間 約30分)
・「天神ビル前」(12)あるいは「天神協和ビル前」(10)乗り場より「福大病院」経由の12・140番のバスにご乗車ください。
・「天神一丁目」あるいは「天神警固神社・三越前」乗り場より「福大病院」経由の114番のバスにご乗車ください。

博多駅から(所要時間 約40分)
・「博多郵便局前」(C、D)バス停あるいは、「博多バスターミナル1階」(4番)あるいは、「筑紫口」乗り場より「福大病院」経由の64・114番にご乗車ください。

六本松バス停から(所要時間 約20分)
・「六本松(福銀前)」より12・114・140番で「福大病院」経由のバスにご乗車ください。

別府二丁目バス停から(所要時間 約15分)
・「別府二丁目」より114・140番で「福大病院」経由のバスにご乗車ください。

大橋駅から(所要時間 約40分)
・「西鉄大橋駅」バス停より6番の「福大病院」経由のバスにご乗車ください。

西新から(所要時間 約30分)
・「脇山口」バス停より95番の「福大病院」経由のバスにご乗車ください。
※本数が少ないのでご注意ください。



自家用車でご来院の方へ

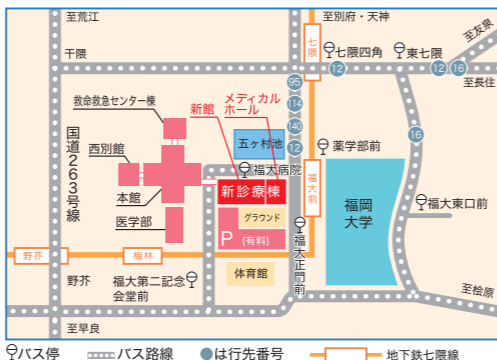
九州自動車道、福岡都市高速道路を利用する場合
九州自動車道、太宰府ICより福岡都市高速道路を經由し、堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状線道路)に入り2kmほど直進して、福大トンネル出入口手前で右折し福岡大学病院方面に向かい福大病院東口交差点を右折してください。

西九州自動車道を利用する場合
※西九州自動車道(福岡前原道路)拾六町インターチェンジで降り、国道202号線(福岡外環状線道路)の青果市場入口交差点を右折してください。国道202号線(福岡外環状線道路)を4kmほど直進し、福大トンネル出入口手前で右折してください。梅林中学校交差点を左折後300mほど直進し、福大病院南口交差点を左折してください。

国道202号線バイパスを利用する場合
※天神、六本松方面から来院される方は、国道202号線(A別府橋通り)の中村大学前交差点を左折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。
※福重、原方面から来院される方は、国道202号線(C今宿新道)の荒江四ツ角を過ぎ、国道202号線(別府橋通り)の中村大前交差点を右折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。

国道263号線を利用する場合
※西新、荒江方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を左折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。
※三ツ瀬、曲瀬方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を右折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。

●駐車場は有料です。(4時間以内200円、4時間超1時間毎100円加算)



福岡大学病院 〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45-1
TEL (092)801-1011(代)

発行：医療情報部 URL：http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/

FUKUDAI HOSPITAL NEWS
福大病院ニュース

2011 季刊
春号
No.75



平成23年3月5日に総合防災訓練が行われました。



福岡大学病院の基本理念
あたたかい医療

- 高度先進医療の指導的病院
- 健康のための情報発信基地
- 地域に開かれた中核的医療センター
- 社会に必要とされる優れた医療人の育成
- 社会のニーズに応える患者中心の医療の提供

患者さんの権利と義務

医療は医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。福岡大学病院では、信頼され安心して受診していただける病院を実現するため、患者さんの基本的な権利を明確にしてこれを職員一同が認識すると共に、患者さんにも義務を守っていただくことをお願いします。

《患者さんの権利》

1. 受療権
患者さんには常に人間としての尊厳と差別のない安全で最善の医療を受ける権利があります。
2. 選択権
患者さんには病院を自由に選択し、変更する権利があります。
3. 自己決定権
患者さんは検査や治療について、その目的、もたらされる結果などについて十分説明を受け、納得の上で選択あるいは拒否する権利があります。
4. 知る権利
患者さんは自分自身に関する情報を開示され、自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。
5. プライバシー保護権
患者さんは医療上得られた個人の情報がプライバシーが守られる権利があります。

《患者さんの義務》

1. 情報提供義務
患者さんは良質な医療の提供を受けるために、ご自分の健康に関する情報をできる限り正確に医師や看護師に提供してください。
2. 状況確認義務
患者さんは納得のいく医療の提供を受けるために、医療に関する説明を受け、理解できない場合は理解できるまで質問して確認してください。
3. 診療協力義務
全ての患者さんが適切な治療環境で治療に専念できるように、社会的ルールや病院の規則、職員の指示を守ってください。
4. 医療費支払い義務
患者さんは医療を維持していただくために、医療費を滞滞なくお支払いいただくことが必要です。

福岡大学病院ハートセンターについて

内科部門（循環器内科）



循環器内科
部長 朔 啓二郎

ハートセンターって何？

ハートセンターは循環器内科と心臓血管外科が一緒になって患者さん中心の医療をする所です。本センターは、循環器疾患の予防から高度の集中治療、そして心臓リハビリテーションまで包括できる構想の下に計画されました。従来の福岡大学病院の循環器医療に比較して、医療の質が高くなり、幅がすごく広がったのです。

危ない心臓病危険因子

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病はライフスタイルの欧米化とともに、青年期から中壮年の方にも増加しています。それに伴い、心筋梗塞、狭心症、心不全、脳卒中などの心臓や脳の血管の病気が若年期から発症する傾向にあります。超高齢化社会を迎え、質の高い社会生活を続けるうえでも、生活習慣病と心臓や脳の血管病の予防はこれまで以上に重要な課題です。禁煙、有酸素運動、食事指導にも多くのスタッフがあたります。

循環器内科の最先端医療

心電図、運動負荷心電図、心臓エコー検査や心臓核医学、冠動脈CT検査、冠動脈造影、血管内（バルーン：風船）治療、血管内超音波法による動脈硬化の性状判定、頻脈性不整脈や生命にとって危険な不整脈のアブレーション治療、ディバイスを用いた治療（ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、冠動脈バイパス術・弁置換・形成術等が、安心・安全に実施されています。血管内治療、アブレーション、植え込み型除細動器の診療実績は九州11大学の中でトップクラスと自負しています。急性心筋梗塞や不安定狭心症など心臓救急に対応するシステムは、救命救急センターとの連携で大変うまくいっています。心発作後や心臓術後、早期から離床できるように心臓リハビリのスタッフと施設が加わりました。心臓リハビリは、外来ではメディカルフィットネスセンターで行います。心不全治療の和温（サウナ）療法の装置まで導入しています。また、動脈硬化治療法の開発研究は世界的な評価を得ており、毎年多くの若手医師が循環器内科に入局します。

患者さん中心の科学を基礎にした医療

循環器内科では、心臓・血管病専門スタッフにより科学的に根拠のある診療・医療（Evidence Based Medicine：EBM）に基づいて専門的かつ最新の治療を行っています。また、私達スタッフ一同、患者さんおよび家族の方々にわかりやすい説明をし、十分に納得していただける診療、検査、手術を安全・安心に行うことを常に心がけております。

私達のミッションと社会活動

循環器専門医の養成とトレーニングの場として完璧な機能を有するハートセンターです。私達、循環器内科のスタッフは救命救急のための様々な学会認定のトレーニングコースを実施しています。また社会活動としても、学部学生や一般市民に対しAED（自動体外式除細動器）の実技講習や、胸骨圧迫の啓発活動と実技講習、メタボ対策のための運動療法、禁煙啓発スワン君のキャラクターや禁煙体操を作ってそれを公開講座等で紹介しています。



ハートセンター内の心臓病の集中治療室
（個室治療病室も含め6床）



循環器内科スタッフ



メディカルフィットネス、心臓リハビリ外来



ハートセンター専用の血管造影室
（造影剤量を少なくし短時間検査・治療を可能にするパイプレンシステムが導入されました）

外科部門（心臓血管外科）



心臓血管外科
医師 西見 優

平成23年1月より新診療棟の開設とともに、循環器系部門はハートセンターと名称が変わり、内科系、外科系の合同チームで治療に当たるようになりました。これまではそれぞれ別の外来・病棟に分かれ診療していましたが、ハートセンターとなりより密接な連携が形成されています。新館3Fには外来部門があり7室の診察室で構成されています。新館6Fには病棟があり6床のCCU（集中治療室）を含む48床のベッド数を完備しています。また同フロアには新しく心臓リハビリ室も備え、専



心臓血管外科スタッフ

属医師、理学療法士、看護師からなるチームにより、リハビリテーションを開始するシステムを整えており、その病態にあったプログラムで退院後の速やかな社会復帰を可能としています。心臓血管外科では、主に開心術や血管手術の診療を行っており、様々な疾患に対応しています。

～外科が扱う主な疾患について説明します～

a) 虚血性心疾患

心臓を栄養している動脈を冠動脈といいます。これが動脈硬化などにより狭くなったり、閉塞すると、狭心症や心筋梗塞を発症します。胸痛、重苦しいなどが主な症状です。外科的治療として、冠動脈に血管を用いてバイパスを行う冠動脈バイパス術があります。バイパスに使用する材料（血管）としては、動脈（胸の内側や手の動脈）と静脈（足の静脈）がありますが動脈を用いた方が開存性が良いと言われています。手術は大きく人工心肺を使用する方法（オンポンプ）と、心臓が動いたままバイパスを行う方法（オフポンプ）があります。人工心肺に起因する合併症が回避できる事や術前状態が重症な方はオフポンプが有利であると報告されています。福岡大学病院では全国に先駆けてオフポンプ冠動脈バイパス術を開始し現在ではその約96%をオフポンプで行っており合併症の軽減に努めています。また低侵襲のため85才を超えて手術を受ける方も多くなってきました。

b) 弁膜疾患

心臓には心房、心室という部屋が左右にあり、それぞれ4つの弁があります。この中で大動脈弁と僧帽弁に病気が多いようです。最近、大動脈弁の弁石灰化による弁狭窄症が、僧帽弁は弁の変性、支持組織の病変による閉鎖不全症が増加しています。症状は胸痛、息切れや呼吸困難などが現れ、重症になると心不全となります。手術は弁の修理（形成術）や交換（弁置換術）が行われます。僧帽弁閉鎖不全症では自分の弁を修復する弁形成術のほうが、患者さんのメリットが大きいため、弁形成術を第一選択としています。大動脈弁では弁置換術がおこなわれ、高齢化のため80才を超える手術もかなり増加しています。

c) 大動脈疾患

心臓から起始して胸から腹を走行する動脈を大動脈といいます。これが大きくなりコブの様にふくれたものを大動脈瘤と呼びます。大動脈瘤は次第に大きくなって破裂し生命の危険が生じるため、破裂する前に治療する必要があります。これらは人工血管を用いて置換します。

今も循環器疾患は増加しており当科では緊急疾患に対応できるよう24時間体制で診療に当たっています。

お気軽にご相談ください。



ハートセンター病棟での心臓リハビリ



心不全の和温（サウナ）治療

